

同じになる言葉

ひらがなで書くと同じになる言葉はたくさんあります。

しかし、意味はどれも同じではありません。じゃあ、どうやって見分けるのか？  
それは・・・

□

ことが大事です。次の例文で確認していきましょう。

次の文では、それぞれ、どちらの漢字を使うのが正しいでしょうか？

- ・はやく早くきずが治早くってよかつた。
- ・足早くがはやく早くて、追早くいつけない。

この場合、「早く」は時間が早い、「速い」はスピードが速い場合に使います。  
なので、それぞれ・・・

- ・早く早くきずが治早くってよかつた。
- ・足早くが速早くくて、追早くいつけない。

・・・となります。では、同じように言葉の意味を考えて次の問題を解いてみましょう。  
(答えは最後にあります。)

- ・かんしんかんしんな行いだ。
- ・手芸かんしんにかんしんかんしんをもつ。

関心 (きょうみをもつこと)  
感心 (すばらしいと感じること)

- ・水泳かんしんいがいの運動は好きだ。
- ・水の量かんしんが、いがいに多かんしんかつた。

意外 (思いのほか)  
以外 (それを除いたこと)

このページの「新出漢字」です。□の中に練習しましょう。

治 <small>な お</small> る	□	□
手芸 <small>し ゅげい</small>	□	□

ちなみに、  
なおる・・・も「治る」と「直る」の二つがあります。「治る」はおもに、「けがや病気が治る」  
「直る」は(こわれた機械・天気・気分などが)もと通りになるときに使います。

## なじみのない読み方

漢字を知っていても、その漢字が使われている言葉になじみがないと、読めないことや読み間違まちがうことがあります。(なじみ慣れ親しんで知っていること)

次の読み方を調べてみましょう。また、それぞれの言葉を使って文をつくりましょう。

①米作

②田園

③半ば

④音色

①			
②			
③			
④			

## 意味とむすびつけた読み方

知っている言葉と、漢字の意味を結び付けることで、まちがって読んだり書いたりしてしまうことがあります。これは学校では習わない(常用漢字でない)読み方です。読んだり書いたりするときに、間ちがえやすい漢字にきづいたら、その漢字の意味を確かめるようにしましょう。

〈例〉 ・家↓うち ・止める↓やめる

このページの「新出漢字」です。□の中に練習しましょう。

はか  
量る

--	--

水の量  
りよう

--

はかる  
量る…水の量や  
重さなどを調べる

解答

- ・感心な行いだ。
- ・手芸に**関心**をもつ。

関心 (きょうみをもつこと)  
 感心 (すばらしいと感じること)

- ・水泳**以外**の運動は好きだ。
- ・水の量が、**意外**に多かった

意外 (思いのほか)  
 以外 (それを除いたこと)

- べいさく      でんえん      なかば      ねいろ

- ① 米作      ② 田園      ③ 半ば      ④ 音色

〈例〉

① 米作 <small>べいさく</small> に適 <small>てき</small> した土地 <small>とち</small> だ。
② 田園 <small>でんえん</small> 風景 <small>ふうけい</small> を眺 <small>なが</small> める。
③ 5月の半 <small>なか</small> ばごろの話 <small>わたり</small> だ。
④ 笛 <small>ふえ</small> の音色 <small>ねいろ</small> が心地 <small>こころ</small> よい

追加でおぼえてみよう

なじみのない読み方

- ・小豆あずき      ・田舎いなか      ・日和ひより      ・足袋たび      ・時雨しぐれ      ・名残なごり